

報道機関各位  
プレスリリース

2011年4月19日  
有限会社ぴっくる  
代表取締役 星山 孝明

---

ユーザー参加型のサウンドドラマを楽しめる、iPhone・Androidに対応したアプリ  
『アクティブサウンドドラマ「すきっぷ通りのコロピックル第5話」』を公開  
ー 誰でも簡単に楽しめるインタラクティブなサウンドドラマ ー  
<http://pickle.ne.jp/ActiveSoundDrama/>

---

有限会社ぴっくる(所在地:東京都武蔵野市 代表取締役 星山 孝明)は、ユーザー参加型のサウンドドラマを楽しめる、携帯アプリ『アクティブサウンドドラマ「すきっぷ通りのコロピックル第5話」』を公開いたしました。

今回発表するアクティブサウンドドラマ「すきっぷ通りのコロピックル第5話」は、次のとおりです。

【サービス名称】 『すきっぷ通りのコロピックル第5話』

【対応機種】 iPhone および iPad および iPod touch(\*1)  
Android スマートフォン(\*2)  
Docomo FOMA 携帯(903i 以上)

【利用料金】 230円(前後半に分かれており、前半は無料)

【入手方法】 iPhone アプリは App Store にて  
<http://itunes.apple.com/app/id430239233?mt=8>  
Android アプリは AndroidMarket にて  
<https://market.android.com/details?id=jp.ne.pickle.ASD7>  
i アプリは DocomoMarket にて  
[http://appli.docomomarket.ne.jp/detail/BRW001\\_PM1\\_001?  
uid=NULLGWDOCOMO&guid=on&cid=10000002540](http://appli.docomomarket.ne.jp/detail/BRW001_PM1_001?uid=NULLGWDOCOMO&guid=on&cid=10000002540)

## 【特徴】

アクティブサウンドドラマは、音声でストーリーを楽しむアプリです。

お話が始まってしまえばその後は画面を見ることなく、携帯端末をポケットなどに入れた状態で楽しむことができます。

そしてただストーリーを聞くだけではなく、ストーリーの途中で発生する選択肢によって、ユーザーがストーリーの方向を変えることができます。

(その選択も画面を見ることなく行えます)

アドベンチャーゲームのような、ストーリーの多様性を持ちつつ、サウンドドラマのようなテンポの良いストーリーを楽しむことができるのが、アクティブサウンドドラマの魅力です。

## 【あらすじ】

すきっぷ通りに住んでいるサラリーマン「坂井 六佐志(さかい むさし)」の元に1体の可愛らしい人形が届く。

その人形には、コロピックルという名の魔法使いの魂が取り憑いていた。

コロピックルはワンランク上の魔法使いになるべく、人間を6人幸せにするための修行に出ている最中だという。

若者と魔法使いと毎回異なるゲストを迎え、武蔵野市を舞台に織り成すドタバタギャグストーリー。

(全6話)

## 第5話 「餃子対決だよコロピックル」の巻

ある日、六佐志の部屋に同じマンションに住んでいる満 美鈴(まん めいりん)おばさんが、得意の手作り餃子を持ってやってくる。

美鈴おばさんは、美味しい餃子を作れる人には美と富が授けられるという、昔住んでいた村の風習が抜けず、今も近所の人達によく餃子を配っていた。

それからしばらく経ったある日、六佐志の部屋に王 翔子(おう しょうこ)という女の子が、引っ越しの挨拶にやってくる。

そして「つまらないものですが」と言って、手作りの餃子を渡してきた。

どうやら母親が美鈴おばさんと同じ村の出身のようで、翔子も母親の影響を受けて近所に餃子を配っているのだという。

しかしなかなか美鈴おばさんの餃子を超えることは難しく、ひとり悩んでいた。

そんな折、美鈴おばさんの娘、満 周子(まん しゅうこ)が留学先から一時帰国し、翔子とどちらがおいしい餃子を作るか、勝負を行うことになる。

そしてその勝負の舞台を、六佐志がセッティングすることになったのだが…

## 【キャスト】

高野 由輝・高橋 幸治・鈴木 由香里・畑谷 明日香・和田 瞳・坂下 淳・仲本 健一郎・  
小寺 真治・高田 知聖

## 【開発の背景】

・会話のテンポを崩さずに遊べるものを作りたい

一般的なゲームでは、ゲームの進行はユーザーがゲームを進めるのに必要な情報を逃してしまわないようにするため、ユーザーに委ねられているケースがほとんどです。

しかしゲームの進行をユーザーに委ねてしまうと、制作者が表現したい会話の間やテンポなどは正しく伝わりません。

映画やドラマなどで普通に行われている表現を、ゲームというユーザーが能動的にアクションを起こす環境で、どのようにしたら行えるのか?というところから企画がスタートしました。

・音声だけで場面を想像する楽しさを提供したい

視覚から入る映像情報は、一瞬にして観ている人に、その情景や状況を理解させます。

しかしユーザーは、観た情報をそのまま受動的に受け入れてしまい、自分自身で想像することをやめてしまいます。

小説やサウンドドラマのように、不足している情報を自分自身でイメージして補う楽しさを体感してもらうことを目的にしています。

・若手のシナリオ作家や声優の発掘の場を作りたい

アクティブサウンドドラマは普通のゲームに比べ、コンパクトに制作が行えるため、低予算で制作が行えます。

そのため若手のシナリオ作家や声優を起用し、挑戦的な作品を作ることが可能です。

そのような作品1つでも多く制作し、個々の才能を開花させる場になることを目標としています。

## 【今後の展開】

今後もアクティブサウンドドラマの特徴を活かした、様々なストーリーを用意し提供していく予定です。

また声優・ゲーム専門学校と協力して、ゲーム制作の授業の一環として制作を行う試みも行っております。

\*1

「iPhone」および「iPad」および「iPod touch」は、米国 Apple Inc.の商標または登録商標です。

\*2

「Android」は、Google Inc.の商標または登録商標です。

## 【本件の連絡先】

有限会社ぴっくる 広報 星山

Tel 070-6684-6194 FAX 0422-53-4170

e-mail info@pickle.ne.jp URL:http://pickle.ne.jp

〒180-0022 東京都武蔵野市境2-2-18 MHビル402

以 上

